

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【公開番号】特開2005-125536(P2005-125536A)

【公開日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2005-019

【出願番号】特願2003-361748(P2003-361748)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 11/70 (2006.01)**

**B 4 1 J 5/30 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/12 (2006.01)**

**B 4 1 J 29/00 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 11/70

B 4 1 J 5/30 Z

G 0 6 F 3/12 C

B 4 1 J 29/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月16日(2006.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被記録紙に印字をおこなうためのプリントヘッドと、

被記録紙を搬送するための搬送手段と、

画像データ周囲部の非印字領域に冗長画像データを付加する冗長画像データ付加手段と、

を具備することを特徴とする印字装置。

【請求項2】

被記録紙に印字をおこなうためのプリントヘッドと、

被記録紙を搬送するための搬送手段と、

画像データ周囲部の非印字領域に冗長画像データを付加する冗長画像データ付加手段と、

画像データ周囲部の非印字領域に前記画像データと前記冗長画像データの境界位置を示す境界線を印字するためのデータを付加する境界線付加手段と、

を具備することを特徴とする印字装置。

【請求項3】

被記録紙に印字をおこなうためのプリントヘッドと、

被記録紙を搬送するための搬送手段と、

被記録紙を切断するカッター機構と、

画像データ周囲部の非印字領域に冗長画像データを付加する冗長画像データ付加手段と、

を有し、

前記プリントヘッドを用いて印字した後、前記画像データと前記冗長画像データとの境界を前記カッター機構で切断することにより、余白のない印字を実現することを特徴とする印字装置。

**【請求項 4】**

被記録紙に印字を行なうためのプリントヘッドと、  
被記録紙を搬送するための搬送手段と、  
画像データ周囲部の非印字領域に冗長画像データを付加する冗長画像データ付加手段と  
、を有し、  
被記録紙の領域を超えて印字を行なうことにより、余白ない印字を実現することを特徴  
とする印字装置。

**【請求項 5】**

前記冗長画像データは、前記画像データの周縁部付近の一部をミラー反転して生成する  
ことを特徴とする請求項 1から4の何れか1項に記載の印字装置。

**【請求項 6】**

前記冗長画像データは、前記画像データの周縁部付近の一部を繰り返し使用して生成す  
ることを特徴とする請求項 1から4の何れか1項に記載の印字装置。

**【請求項 7】**

前記冗長画像データ付加手段は、前記画像データの送出側である装置が備えていること  
を特徴とする請求項 1から4の何れか1項に記載の印字装置。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の目的を達成するための請求項1記載の発明は、被記録紙に印字をおこなうための  
プリントヘッドと、被記録紙を搬送するための搬送手段と、画像データ周囲部の非印字領  
域に冗長画像データを付加する冗長画像データ付加手段と、を具備することを特徴とする  
ものである。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項3記載の発明は、被記録紙に印字をおこなうためのプリントヘッドと、被記録紙  
を搬送するための搬送手段と、被記録紙を切断するカッター機構と、画像データ周囲部の  
非印字領域に冗長画像データを付加する冗長画像データ付加手段と、を有し、前記プリント  
ヘッドを用いて印字した後、前記画像データと前記冗長画像データとの境界を前記カッ  
ター機構で切断することにより、余白のない印字を実現することを特徴とするものである  
。

請求項4記載の発明は、被記録紙に印字を行なうためのプリントヘッドと、被記録紙を  
搬送するための搬送手段と、画像データ周囲部の非印字領域に冗長画像データを付加する  
冗長画像データ付加手段と、を有し、被記録紙の領域を超えて印字を行なうことにより、  
余白ない印字を実現することを特徴とするものである。

**【手続補正 4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項5記載の発明は、請求項1から4の何れか1項に記載の印字装置において、前記  
冗長画像データが、前記画像データの周縁部付近の一部をミラー反転して生成するもので

あることを特徴とするものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 6 記載の発明は、請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の印字装置において、前記冗長画像データが、前記画像データの周縁部付近の一部を繰り返し使用して生成するものであることを特徴とするものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の印字装置において、前記画像データの送出側である装置が前記冗長画像データ付加手段を備えていることを特徴とするものである。